

事務事業調査 平成23年度	No 740	課名	生涯学習課	起案者	岡田七瀬
事業種別	市民サービス	係名	文化振興係	決裁者	岩月隆夫
事務事業名	市民会館文化鑑賞事業	区分	継続	業務一覧No	1
		他係名			
		他係業務一覧No			

### 1 事務事業の位置付けと起案事由(事業の必要性)

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり		予算科目(会計)		一般会計
	4 文化・芸術		予算科目(款・項・目)		50-25-25
	1 文化振興		総合計画以外の計画		
	2 鑑賞・観覧機会の充実		関連する総合計画の施策		
性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの(選択的事業)		法定受託事務	無	
根拠法令	無				
実施方法	直営	委託先			
実施期間	開始	昭和47年度	経過	39年目	終了
公約・議会答弁	無				
陳情・市民要望	無				

### 2 事務事業の概要

求める成果	誰(受益者)が	芸術に親しむ市民が	~になる	良質な文化を身近で鑑賞できる機会を得る
事務事業の内容	良質な文化を身近で鑑賞できるように、市民会館で公演事業を開催する。			
事務事業進捗状況	時代の変化と共に、市民のニーズにあわせ親しみやすいクラシックやニューミュージックの幅広い公演に努めています。			
改善・対策の履歴	講演会については、文化センターホールとのすみわけのため平成2年から開催していません。近隣市に音響の整った施設がオープンしたので、交響楽団などから、大衆に受け入れられるニューミュージックなどに移行しました。地元出身の音楽家や地域の団体による演奏会を積極的に開催してきました。			
環境配慮の視点	環境目標○—基本的施策○—具体的施策○			

### 3 事務事業の事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度	
	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	
総事業費 f=a+d+e	46,295	37,286	46,103	42,185	41,472	38,555	45,514	
財源計 a	37,259	28,250	37,067	33,149	32,436	29,519	36,478	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0	0
	その他( )	26,787	24,338	25,473	24,297	22,200	22,319	25,000
	一般財源	10,472	3,912	11,594	8,852	10,236	7,200	11,478
受益者負担金	0	24,338	25,473	24,297	22,200	22,319	25,000	
職員人件費 d	9,036	9,036	9,036	9,036	9,036	9,036	9,036	
内訳 従事職員数	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20	
人事課予算分人件費 e	0	0	0	0	0	0	0	

#### 4 求める成果を得るための活動

			年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
活動	活動①	活動名 (活動内容)	公演事業の開催	見込(単位)	7.00	7.00	6.00	7.00
				実績b(単位)	7.00	7.00	6.00	
		指標名(単位)	開催回数(回)	活動の総事業費f 実績	28,554	35,431	32,654	
				単位コストg=f÷b 実績	4,079.14	5,061.57	5,442.33	
	活動②	活動名 (活動内容)	公演事業の啓発(広報、新聞社、幼稚園宛て等)	見込(単位)	7.00	7.00	6.00	7.00
				実績b(単位)	7.00	7.00	6.00	
		指標名(単位)	啓発回数(回)	活動の総事業費f 実績	8,732	6,754	5,901	
				単位コストg=f÷b 実績	1,247.43	964.86	983.50	
	活動③	活動名 (活動内容)		見込(単位)				
				実績b(単位)				
		指標名(単位)		活動の総事業費f 実績				
				単位コストg=f÷b 実績				

#### 5(1) 成果の目標と実績

			年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
成果	成果1	指標名・指標式(単位)	入場者数(人)	見込(単位)	8,080.00	8,080.00	7,200.00	8,100.00
				実績(単位)	9,667.00	8,059.00	7,328.00	
			達成状況	達成	未達成	達成		
		目標成果指標値	0.00	目標達成年度				
	成果2	指標名・指標式(単位)	参観者によるアンケートの満足度(%)	見込(単位)	75.00	75.00	75.00	80.00
				実績(単位)	92.00	91.00	95.00	
			達成状況	達成	達成	達成		
		目標成果指標値	0.00	目標達成年度				

#### 5(2) 成果1、2以外の成果

市民の意見、利害関係者の声などをプラス・マイナス両面からコスト、成果に分けて具体的に記入	
成果	実施6事業のうち1事業は、市民参加(市内中・高等学校、市民楽団等出演)、入場無料で開催し、多くの市民に鑑賞していただきました。安城市出身の世界的ピアニスト田村響氏と地元の高校(安城学園)及び大学(愛知学泉大学)のジョイントコンサートの成功は、今後のクラシック音楽の振興に意義のあるものとなりました。

#### 6 単位コストと成果の分析

項目	どのような内部の取り組みや外部要因が影響を与えたのか、プラス・マイナスの両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
単位コスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>単位コストには、入場料収入が考慮されていないが、実際の単位コストは収入を増やすことにより削減につながることでより多くの入場者を確保するように努めました。</li> <li>公演内容によって啓発先を工夫することで、集客増に努めました。</li> <li>過去の市民会館事業で来館された方宛てにダイレクトメールを送りました。</li> <li>恒例の子ども向け事業については、園長会で直接とりまとめの案内をしました。</li> </ul>
成果1,2	入場者数、アンケートによる満足度ともに目標値を達成しました。ジャンルにより入場者数に差が見られるが、アンケートによる満足度は高いことから引き続き幅広い公演の開催に努めます。

#### 7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案、市民にわかりやすく説明する	
改善	人気の高い公演は申込者が殺到するため、公演ごとの初日販売枚数を考慮する必要がある。公演ジャンルによって客層は大きく変わると考えられるので、啓発先については来場者アンケートを参考にすることでより一層の工夫をしてほしい。

#### 8 方向性

方向性	必要性、効率性、有効性を踏まえ、今後どのように事業を進めるか、方向性を選択し、内容を市民に説明します
維持・継続	本事業は、文化振興に関する事業であり、芸術に親しむ市民が良質な文化を身近で鑑賞できる機会として、市が実施すべきものと考えます。入場者数、アンケート満足度はともに目標を達成しており、継続して実施します。本年度は、安城市吹奏楽フェスティバル第20回記念演奏会、子ども向けぬいぐるみ人形劇、落語、中高年者向け事業を含めた7事業を予定しています。